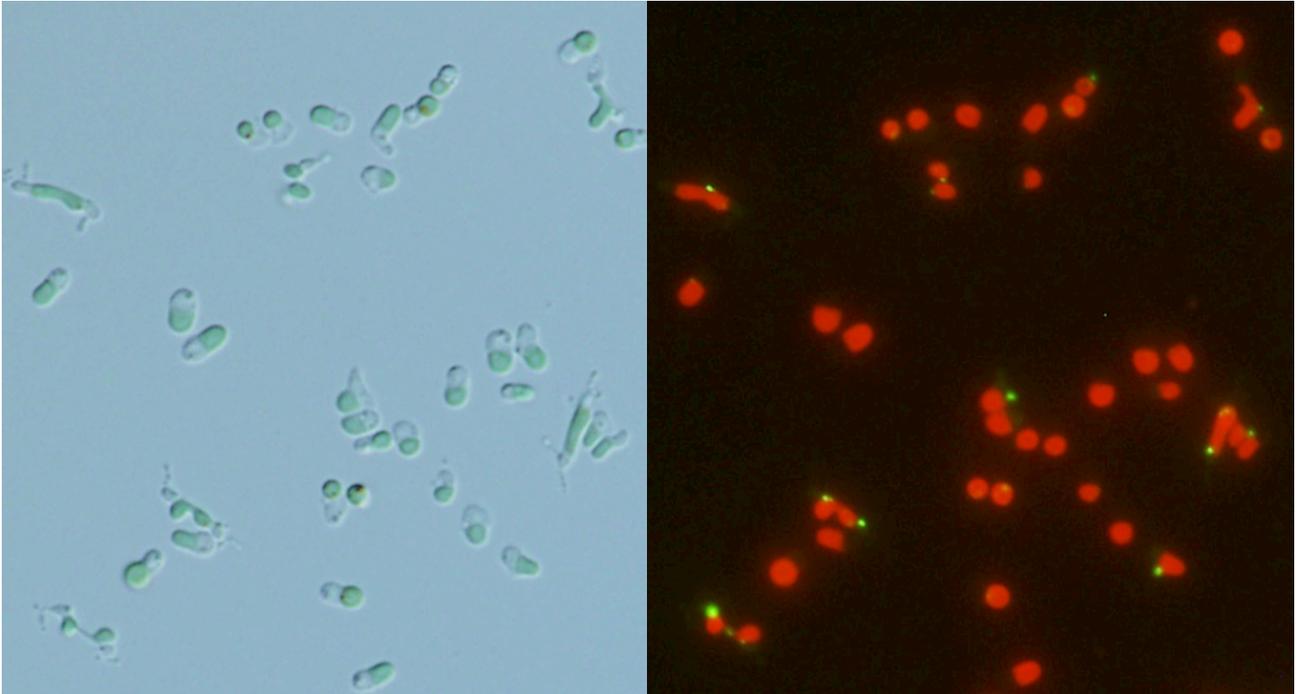


第136回 理学部コロキウム

単細胞藻から探る葉緑体成立機構

理学部 自然環境科学プログラム 墨谷 暢子



日時：12月21日（木）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

場所：理学部B棟301講義室（通常と部屋が異なります）

葉緑体は光合成するバクテリアであるシアノバクテリアが細胞内共生したことにより誕生したとされています。独立した生き物が宿主である別の生き物と共生する過程では、宿主が共生体を制御する仕組みが必要となります。そのうちの仕組みのひとつが分裂の協調です。単細胞藻類は細胞あたりの葉緑体が1～数個程度であることから、葉緑体成立時に獲得された機構を今でも残している可能性が高いと考えられます。

本講演では単細胞藻類を実験材料として、時期特異的に葉緑体分裂を阻害したときの細胞の様子を調べる実験から見えてきた、細胞と葉緑体の分裂を協調させる仕組みについて紹介します。

問い合わせ先：長束俊治 (natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp)